

まちづくり専門家プロフィール

ふりがな	おおたけ まさゆき	
氏名	大竹 雅之	
区分	アドバイザー	コンサルタント
専門分野又は得意とする分野 1. まちづくり全般のアドバイス, コンサルタント業務。 2. 中心市街地の商店街を中心とした再生計画。 3. 農山漁村における農商工連携による産業振興計画, 地域資源活用, 特産品開発。 4. 住民参加によるまちづくり (ワークショップ等) 推進, 地域の産業 (コミュニティビジネス等) のプロデュース。		
主な実績 H12年10月～H13年3月 宮城県迫町中心市街地活性化基本計画策定 H13年4月～H14年3月 宮城県迫町TMO構想策定 H13年8月～H14年3月 喜多方市TMO構想策定 H14年6月～H15年3月 塩竈市本町商店街活性化計画策定 H14年10月～H15年3月 山形県南陽市TMO計画策定 H15年12月～H16年3月 宮城県東和町中心市街地活性化基本計画策定業務 H16年6月～H17年2月 福島県会津坂下町TMO構想策定業務 H17年9月～H18年3月 宮城県丸森町中心市街地活性化TMO構想策定業務 H18年4月～H22年7月 一番町三丁目地区まちづくり協議会サポート業務 H13年4月～H22年7月 多賀城市下馬駅周辺まちづくり計画サポート業務 H19年4月～H20年2月 多賀自衛隊仙台苦竹駐屯地厚生施設リニューアル計画業務 H21年7月～H22年3月 丸森町元気再生事業(商工会)		
資格等 都市・地方計画(技術士), 建築計画(1級建築士) 独立行政法人中小企業基盤整備機構中心市街地商業活性化アドバイザー、宮城県商工会連合会エキスパート登録専門家、宮城県中小企業団体中央会エキスパート登録専門家、仙台商工会議所エキスパート登録専門家		
まちづくりに関する活動履歴 H9年度～ 社団法人宮城県建築士会仙台支部まちづくり部会長 H11年度～H13年度 特定非営利法人水環境ネット東北理事 H11年度～ 社団法人宮城県建築士会地域貢献活動センター委員長 H13年度～ リバイブ名取21会員 H13年度 宮城県利府町都市基本計画策定に係る懇談会委員長 H15年度～ 宮城県利府町公共施設配置計画策定に係る懇談会委員 H22年度～ 社団法人宮城県建築士会まちづくり委員会委員		

専門家派遣で派遣された地区

仙台市泉区友愛町地区

まちづくりについて考えること

私はこれまで主として東北各地の「地域づくり」「まちづくり」を手がけてまいりました。

まちづくりが、地域における地域文化創造の総体である以上、その目指す目標や、その実現手段が地域ごとにさまざまであり、一般解は存在しないということが私の「持論」であり事実そういうものであったとっております。

いま、地域の「まちづくり」の環境は、大きく変わろうとしています。新たな市街地形成を図る上で都市開発事業の柱の一つと位置づけられてきた「土地区画整理事業」が、地域の過疎化による人口の減少、「コンパクトシティ」の都市理論の浸透による市街地拡大の抑制によりその事業需要を大幅に減少させています。

また、地球温暖化問題に代表される、種々の環境問題の提示による一般市民の方々の環境問題への関心の高まりから「環境共生」「エコロジー」「省エネ」などをキーワードとした「まちづくり」の視点が重要視されてきております。

さらに、一般市民や、学生などが中心とした「ボランティア」活動によるまちづくりへの参加が一般的となり、今後この傾向は、さらに加速されることが予想されます。

一方、過疎地域における集落の存続問題（限界集落問題）、地方商店街における商店街再生の問題等、国をはじめとした公的機関が大きな政治的、行政課題と捉えているものの、いまだ有効な解決策を見出せていない実情があります。

「総合的なまちづくり事業」の結果、総体として創出される地域の生活空間とそのバックグラウンド（背景）となっている周辺の景色（里山、遠望される山々）を総称する「景観」について一般市民の関心の高まりや、国における「法制度」の確立としての「景観法」の成立により「まちづくり事業」の新たな柱となることが期待されています。

また、「地域主権」「道州制」に代表されるように地方分権として地域の特性と能力を生かしたまちづくりが新たに進められようとしております。

これからのまちづくりは、このように錯綜した種々の課題に対応していく必要があります、優れた専門性を持った個人、組織と地域住民との良好なパートナーシップ形成のもとに国をはじめとした各種支援機関との連携を図りながら取り組むことが重要と考えております。

パートナーシップ組織概念の事例（右図）

